

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	－	－
	○	－	－
	□	コンビニ（経営者）	・イベントや祭りがないので来客数が見込めず、売上が期待できない。
	□	コンビニ（代表者）	・全国的な新型コロナウイルス感染者の増加はいまだ終息がみえず、県民の動き、また県経済にも多方向で大きなマイナス影響を及ぼす。
	□	衣料品専門店（経営者）	・今月は前月と比べて給付金による需要が少しはあり、良くなっている感はあるが、客は先を考えて、少しシビアに物をみている雰囲気がある。景気はまだまだ良くなるようにはみられない。
	□	観光型ホテル（マーケティング担当）	・今月同様、客室稼働率は前年実績に対して大幅にマイナスとなることを見込まれている。現段階の新型コロナウイルス感染状況を考えて、まだまだ旅行マーケットの冷え込みは加速しそうである。お盆期間のキャンセルも多くなってきており、状況によっては今月より悪くなる可能性もある。
	□	観光型ホテル（代表取締役）	・新型コロナウイルスの影響が大きい。Go To キャンペーンなどはあるが、世の中が動き出そうという雰囲気が弱い。本来の来客数に戻るには時間が掛かる。
	□	住宅販売会社（代表取締役）	・建築相談の件数が減ってきており、今後その影響が建築受注件数の減少につながらないか懸念される。
	▲	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染の拡大の影響がみられる。第2波とみられる状況で、再度の自粛要請の可能性を考えると現状が良くなる環境はみられず、悪化する可能性の方が大きい。
	▲	コンビニ（副店長）	・この2週間で新型コロナウイルス感染者が増加しており、Go To キャンペーンで感染拡大の懸念がある。県独自の自粛要請が今後発令されるとみられる。
	▲	衣料品専門店（経営者）	・正直なところ先は読めないが、台風シーズンの到来や夏の終了で客が少なくなるし、新型コロナウイルス感染者も増えると必然的に景気は悪くなるとみられる。
	▲	旅行代理店（マネージャー）	・Go To Travel キャンペーンは始まったが、新型コロナウイルス感染者も増えてきていて、また振出しに戻らないか怖い。
	▲	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染拡大により県の緊急事態宣言が出て、不要不急の外出が減り客足は確実に鈍ってくる。営業短縮になる可能性もあり期待は持てない。
	▲	その他サービス [レンタカー]（営業）	・Go To Travel キャンペーンで持ち直しを期待したものの、新型コロナウイルス感染者が増加傾向にあり、先行受注の伸び悩みが顕著に表れている。
	企業 動向 関連 (沖縄)	×	商店街（代表者）
×		百貨店（店舗企画）	・今月末より新型コロナウイルス感染者が増加傾向にあり、来客数も徐々に減り始めている。県外への渡航についても地域限定で自粛傾向となるため、再び景気後退の懸念がある。
×		その他飲食 [居酒屋]（経営者）	・近くの目抜き通りの観光関連の土産品店、飲食店の廃業、無期休業が約80店舗にもなると報道されている。これらの従業員は午後9時以降の大切な客だったが、入客が見込めない。また、急激な新型コロナウイルス患者の増加で外出が減ってきており、Go To キャンペーンで観光客は増えそうではあるが、従業員がり患しないか不安で積極的に誘致しづらい。
◎		－	－
○		食料品製造業（総務）	・新型コロナウイルス感染者数が県内でも増え始めており、全国的な議論同様に人の移動がまた制限されれば景気は悪化するし、今のように続けば緩やかに回復に向かうとみられる。いずれにしろ新型コロナウイルス感染者数の状況に左右される。
□	建設業（経営者）	・新築相談の来客数は増えたが、土地なしの客なので契約までには時間が掛かる。	
□	輸送業（経営企画室）	・しばらくはこの状況が維持されていくとみている。	
□	会計事務所（所長）	・事態収束のめども立たない。	

	▲	窯業・土石製品製造業 (経営者)	・新型コロナウイルス感染の影響で、民間工事向けの出荷が需要減の見通しである。
	▲	輸送業 (代表者)	・宮古島、石垣島の建設関連は、官需部門においては好調に推移しているが先々の予定は不透明で、民需はホテルやアパート等の需要が落ちている。そのようななか、新規参入船が増加し、供給過剰の状況がうかがえ競争が激化しそうである。
	▲	広告代理店 (営業担当)	・新型コロナウイルスの感染拡大が再発するなか、県内企業も再び販促活動を縮小、見直しの動きが加速している。
	×	—	—
雇用 関連	◎	—	—
	○	—	—
(沖縄)	□	求人情報誌製作会社 (編集室)	・7月は飲食店中心に徐々に求人情数が増加しているが、新型コロナウイルスの感染防止による自粛要請が行われた場合は、4～5月のように求人情数は減少するとみられる。
	▲	求人情報誌製作会社 (営業担当)	・県内の新型コロナウイルス感染状況により、消費者が外出等を控え始めるとみている。
	▲	学校 [専門学校] (就職担当)	・沖縄県内の新型コロナウイルス感染状況が悪化しており、社会の経済活動はもとより、授業や就職活動などいろいろな場面で制限が掛かり、活動自粛を余儀なくされている。今後2～3か月で回復するとは見込まれない。
	×	人材派遣会社 (総務担当)	・新型コロナウイルスの感染拡大により、もっと悪くなる。
	×	職業安定所 (職員)	・新型コロナウイルスの患者数が減少し、求人数も4月と比較して増加しそうであったが、7月の4連休で爆発的に新型コロナウイルス患者が増加し、観光関連業種で求人数が減少するものとする。また、観光関連業種を中心に、事業主から解雇の相談が増えてきている。
	×	学校 [大学] (就職支援担当)	・再度、新型コロナウイルスが猛威を振っている。航空系が採用中止とするなどの影響もある。今後、中小企業でも採用活動を見合わせる事になりそうである。